令和2年度　自己評価　総計

奈良佐保短期大学附属生駒幼稚園

子ども時代を子どもらしく　のびやかに　のびやかに

教育目標

○生き生きとした　たくましい子ども
○思いやりのある　あたたかい心の子ども
○ものごとを工夫し　考えてやりぬこうとする子ども

努力を要する　1　→　7　出来ている

分野	項　目	評価 1	2	3	4	5	6	7	備　考
保育内容充実度	①教育指導要領に示された目標等を含んだ指導計画にのっとっていたか						■		毎月の学年会議の際に指導計画を確認しながら進めた。
	②幼児の興味を大切にした環境を整えられたか							■	季節ごとに興味のあるものや、子どもたちの考えを取り入れ、環境を作ったり保育を進めていた。
	③発達の姿と保育計画は一致していたか						■		毎日の振り返りで気づき、改善したり、考え直すことができた。
	④各クラスの実態に応じて工夫できたか							■	それぞれのクラスに応じて考え、工夫できた。
	⑤一人一人の発達に応じた指導、目標は挙げられたか							■	一人ひとりの目標を決め、対応。個々に支援の必要な子どもには、理解しやすいよう声掛けを行った。
	⑥振り返りの工夫・環境はできていたか						■		毎日、保育室を出るときには見渡し、整えることができた。
	⑦到達の姿を教師全員できちんと見つめられたか							■	他クラスの子どものことも情報共有し、考える機会があった。
環境充実度	①各保育室の整理整頓はできていたか							■	子ども達と保育の中で確認・整頓した。また、職員間でも片づける場所をきちんと決め、整頓できた。
	②各保育室にそれぞれの工夫はみられたか						■		それぞれの先生の工夫がみられて、勉強になった。
	③園内の清潔度は高かったか							■	コロナ禍でいつも以上に丁寧であったと思う。
	④使った用具類の始末はきちんとできていたか						■		行事で使用したものの片づける場所などを情報共有するように心がけた。
	⑥全体の小さな生き物に対する姿勢は前向きであったか							■	各クラスで話し合い、子ども達と一緒に飼育しながら命の大切さについても学ぶことができた。
	⑦環境について工夫やアイディア提案されたか						■		職員会議などで話題に出すようにした。
家庭・地域との連携充実度	①園から家庭への毎日の電話連絡は偏りなくできたか						■		特別に何かある場合でなくとも、気になることや、その日の出来事を連絡するように心がけた。
	②保護者に対して誠意ある対応ができたか							■	保護者からの思いを受け止め、問題点は、園長・職員で共有するようにした。
	③子どもたちのために地域の方々に対して具体的な協力を頼めたか						■		コロナ禍で、子どもと地域の方とのかかわりは少なかった。 園としては、園内での運動会実施など地域の方にはご迷惑をおかけしたが、その分、 お礼やご挨拶を丁寧に行えたと思う。
	④地域の方々に感謝の思いを持つことはできたか							■	
	⑤またその思いを何らかで示せたか							■	
研修充実度	①研修の場を設けられたか						■		園外研修は、コロナ禍で例年より少なく感じた。園内研修はこまめにおこなった。
	②研修のための園外研修の機会はあったか						■		アレルギー研修、小学校との連携についての研修に参加した。そのほかリモートでの研修会に参加。
	③学んだことの　記録・報告はできているか						■		研修記録は各自提出している。
安全管理度	①遊具の点検は定期的にできていたか						■		戸外遊びの際に、点検するように心がけた。また、学期末には安全点検表で、みんなで確認できた。
	②病気や怪我が発生した場合の基本的なマニュアルは把握できていたか						■		小さなケガも報告するよう心掛けた。
	③記録はきちんとできているか							■	小さなケガもきちんと記録を残した。
	④感染疾病発生の場合の処置の把握できているか						■		コロナ対策について全員で情報を共有した。
園務分掌遂行度	①各自の担当分は計画・提案・実行・反省・記録はきちんとできたか							■	行事等の担当について記録し、引き継いだ。
	②来年に向けて整理はできているか							■	各学年のその年の記録をまとめ、引き継ぐようにした。
	③職員間に協力体制はできていたか							■	1つ1つの行事に対し、全員で分担して準備・実行できた。
	④会議の場で活発な議論ができたか							■	毎年、行事についての話し合いなど、意見がたくさん出るようになってきている。